

# Microsoft Windows NT/2000 ワークステーションの物理メモリの量の特定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[Microsoft Windows NT](#)

[Microsoft Windows 2000](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Microsoft WinMSD を実行して Windows NT/2000 ワークステーションの物理メモリの量を判別する方法について説明します。WinMSD は、Microsoft Windows NT/2000 を実行しているコンピュータに関する詳細な設定情報の収集に使用するユーティリティです。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Microsoft Windows NT Server 4.0
- Microsoft Windows 2000

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Microsoft Windows NT Server 4.0
- Microsoft Windows 2000

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [Microsoft Windows NT](#)

Windows NT 環境において、個別の Cisco Intelligent Contact Management ( ICM ) ノードにインストールされている物理メモリの量を決定するには、次のステップごとの手順に従ってください。

1. コマンド ウィンドウまたは [Run] ダイアログボックスで、**winmsd** と入力します。
2. **Enter** キーを押します。Windows NT Diagnostics ウィンドウは [図 1](#) に示すように、開きます。  
[図 1 : Windows NT Diagnostics](#)
3. [Memory] タブをクリックし、メモリに関するすべての関連情報を示す [図 2](#) を参照してください。この例では、次のような物理メモリの割り当てを示します。物理メモリ合計：  
523,636 KB 利用可能な物理メモリ： 418,380 KB [図 2 : Windows NT のメモリ情報](#)

## [Microsoft Windows 2000](#)

このステップごとの手順は、Windows NT 環境において、個別の Cisco Intelligent Contact Management ( ICM ) ノードにインストールされている物理メモリの量を決定するのに役立ちます。

1. コマンド ウィンドウまたは [Run] ダイアログボックスで、**winmsd** と入力します。
2. **Enter** を押すと、[図 3](#) のような [System Information] ウィンドウが開きます。物理メモリの割り当て内容は次のとおりです。物理メモリ合計： 523,248 KB 利用可能な物理メモリ： 338,632 KB [図 3 : System Information ウィンドウ](#)

## [関連情報](#)

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)